

令和6年度町づくり座談会会議録（岩ヶ袋・海谷）

開催日時	令和6年7月4日（木）午後7時00分～午後8時25分
開催場所	海谷公民館
町側出席者	町長 庄司 中 総務課長 土屋弘行 まちづくり推進課長 大山和彦 総務主幹 小玉大輔 総務課主事 名垣遼河
出席者	17名

議事概要

1. 開 会	土屋総務課長の進行で開会する。（午後7時00分）
2. 挨拶と説明	庄司町長が挨拶と町施策の概要を説明する。
3. 懇 談	
土屋総務課長	<p>ここから懇談ということで、皆様からご意見、ご提言などをいただければというふうに思います。発言される際におきましては、地区名とお名前をおっしゃっていただいてから発言をお願いしたいと存じますので、よろしく願いいたします。</p>
海谷地区 ●●さん	<p>●●と言います。一つ町長さんに聞いていただきたいことが一点あります。個人的に問い合わせても多分門前払いになるんじゃないかと思いましたが、町長に聞いていただければ、それなりの回答を頂けるのではないかと考えて1点だけ聞かせていただきたいと思います。それはですね、数年前に県道305号線（大石田名木沢線）と県道123号線（荻袋大浦線）の交差点に信号機の設置について、駒籠地区との連名で町議会に（請願を）提出しました。そこでいろいろ審議されまして、認められました。認められましたので、尾花沢警察署の公安委員会に上程（意見書を提出）してもらいました。そこまでなんです。その後一体どうなっているのか。数年経っているんですけども、これ何も私は聞いておりません。優先順位があるのか、交通量の問題があるのか、何も聞いておりません。数年経ってますので、町長から聞いていただいて、ぜひ回答をお願いしたいと思います。</p> <p>それで大石田名木沢線は優先道路になっております。その優先道路の郵便局前がカーブになっていて非常に危ない。駒籠地区の方も非常に危惧しております。そんなわけで、出したはずなんですけども何も連絡ありませんので、どうなっているのかを聞いていただきたいと思います。以上であります。</p>
土屋総務課長	<p>はい、ありがとうございます。交通安全運動の時に、私もあその交差点に割り当てられて、朝に立つことがありますけども、どちらも大きい道路ですので、どちらが優先なのか見づらいついていうか、へたをすれば、駒籠の方から来た車が止まらないでまっすぐ行ってしまいそうな感じに見受けられます。朝の通勤時には結構交通量があると感じています。</p>

海谷地区 ●●さん	<p>人身事故とかはまだ起きていませんが、小さな事故は結構あるんです。よくパトカーが来て検証しているのを現実に見ています。まだその程度で済んでいますので、それでいいということではありませんのでね。やはり県道と県道の交差点でありますので、そこら辺を重視してもらって。梨の礫なので、どうなっているのかだけ回答をいただきたいと思います。</p>
土屋総務課長	<p>対応についてはまちづくり推進課が担当になりますので、大山課長から答えさせます。</p>
大山まちづくり推進課長	<p>私が担当してから1年半ぐらいになったわけですが、警察での現在の状況を把握しておりませんので、改めて確認させていただきたいと思います。ただ、尾花沢警察署管内の状況を申し上げますと、全体の交通量からいきますと、なかなか尾花沢署の管内に新規の信号を割り当てられる確率は非常に少ない状況です。そのため、町として信号機の設置を要望しても、なかなか進まないという状況です。ただ、手をこまねいているわけではありません。</p> <p>冬に雪が降って除雪が出ると、どうしても横断歩道であったり、スピード減速の表示であったりが消えてしまいます。なので、まちづくり推進課の担当と学校関係者、尾花沢警察と合同で交通安全施設の点検作業を行わせていただいております。その中で、予算的にも限られることはあるんですけども、そういった薄くなっている所に優先的に予算を配分してもらって、施設を修繕していただいているような状況でございます。</p> <p>また、特に県道大石田名木沢線と荻袋大浦線の交差点は私も交通安全で立っています。立哨していると、尾花沢方面から来た車が一時停止せずに抜けていったという事例も見ていますので、(信号機についても)優先順位を確認した上で再度要望してまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p>
岩ヶ袋 ●●さん	<p>関連なんですけども、大山課長にも話をしたのですが、新規の信号機を設置することが難しというのはわかるんですね。では、どうすればいいのかということですが、例えば、国道旧13号は交通量が少ないけども信号機がたくさんあるんです。そういう所を交通量を調べて、付け替えをするという申請を行えば、新規ではないので、早く付く可能性が高いんです。そういう所を研究してくださいと言っているわけですから、そういったことを尾花沢警察署に話をしてください。</p>
土屋総務課長	<p>そういったことを含めてこの調査をしながら進めていきたいというふうに思います。そのほかございませんか。</p>
海谷地区 ●●さん	<p>私から2点ほどお願いというか要望というかね。まず1点目はですね。庄司町長忙しいなあと思うほど、毎週月曜日の新聞に日程が出ていますよね。見ていると、町のこと考える暇ないんじゃないかという思いがしていたんです。せっかく副町長がいるんですから、余計なことですけど、もう少し副町長に出てもらって、町長は町のことだけに専念してほしいなど、私はそう思っていたんです。これが1点目ね。2点目。私は長い間、子供の見守り隊を10年ちょっとやったんですけども、最近ず</p>

いぶん子どもが少ないなど。一気に少なくなっていますね。それで町では先ほど町長さんの説明があったんですが、ずいぶんいろんなことを頑張っているんですよね。それはこの資料を見てわかります。ただ頑張ってもなかなかそのなんていうかね、この支援事業に乗っからない人が多いんじゃないかなって思うわけ。それで全国的に見てみますと、ちなみに大石田町の合計特殊出生率っていくらなんですか？（町長：1.2 ぐらいです。）1.4 以下でしょ。ここが問題なんですね。で、そんなに一生懸命になっても、なかなか成果が上がらないということは、何か問題があるんじゃないかなと私はここ思うんです。合計特殊出生率は、死ぬまでに女性が産む子どもさんの数で、全国的にもものすごく低いんですよね。ところが鹿児島島の離れ島とか。沖縄は高いんです。それ以上に高いところは岡山県の奈義町です。町長知ってますか（町長：はい。）ここは、令和元年に2.95人になっていました。今も2.86 ぐらいなんですよ。なぜなんだということで、私もずっと調べてきたら、やっぱりそれなりの若者が移住したくなるような施策がいっぱいしてあるんですね。これはあまり詳しく言わなくても、調べてもらえばわかると思うんですけども、その辺を参考に、もっと成果につながるようなことで考えてほしいなと思っています。

ちなみにですね、奈義町は人口が5,900人ぐらいなんですね。大石田町は広報を見ると6,060人ぐらいですね。それと奈義町っていうのはどこにあるか？やっとなさなくちゃならないほどで、岡山県と鳥取県の県境にあるこんなちっちゃい町なんですよ。多分あそこはものすごく雪が降ると思うんです。ですから、「大石田町には雪が降るからこないんだ」ということだけで諦めてはダメだと思ってんだよね。

それから、その岡山県の奈義町では、子育て用に非常に多くのお金を使っているんです。このお金をどうやって生み出すかということですけども、県と国からは1,000万ぐらいしか来ないと。それに関わる分はね。それで、町の住民と話し合っ、町長は、さっき庄司町長もおっしゃったけども、10年ぐらい前から行政改革やっていますよ。具体的に言うと、120人の役場職人を88名まで落として、その浮いた財源を全部つぎ込んでいます。この前テレビで放送になった番組を見ていたら、保育園に子供がいっぱいいるんですよね。私は大石田町でもこれと同じような条件があるもんですから、参考にすべきだなと私は思いました。

子育て支援は大石田町でも一生懸命やってると思うんですよ。まあ過去4年間、あるいは8年間、この辺が置き去りにされてたきらいがないとも言えないんですけども、さっきの庄司町長の話からいけば、やってくれるんじゃないかなということ、総務課長もまちづくり推進課長も、岡山県の奈義町は何をやったのか。何が大石田町と違うのか。その辺の良い所は取り入れて頑張してほしいなと思います。でないと子どもがいなくなって、これから2060年には半分以下になると思うんです。海谷地区を見ても、空き家はなんとか埋まっているようですけども、一人暮らし、あるいは年取った2人暮らしはずいぶんいっぱいあります。結婚相談を受ける補助金としておっしゃってますけど、その辺もね、やっぱり考えなくてはならないと思います。

一番の問題はやっぱり若者が就業する場ですよ。で、その奈義町から一番近いところで津山市まで30分ぐらいなんですよ。岡山市までは何時間もかかるんだよね。ここは山形まで1時間でしょう。だいたい条件は良いのかなとこう思っているんです。あとは、仕事 cameたらこれをシェアすると。そして若者の2人でそれをやることに

庄司町長	<p>よってすごい効率を上げてるとかね。この辺が大きなポイントだと思うんですよ。</p> <p>実は、僕の勉強ノートがあるんですけども、ちょうどこの子育て政策について奈義町のことを学んでいるところでして、おっしゃる通り、奈義町は今合計特殊出生率が 2.8 ぐらいありまして、大石田町の倍ぐらいあります。おっしゃる通りで、行政改革をしてその余った予算を子育て施策に使っているという話をいろいろな文献で勉強していきまして、何とか活かしていきたいなと思います。どうもありがとうございます。よろしくお願いします。</p>
土屋総務課長	<p>その他ありますでしょうか。</p>
岩ヶ袋 ●●さん	<p>岩ヶ袋の●●です。●●さんのように難しい話はできないので、簡潔に言いますのでよろしくお願いします。</p> <p>一つは雪対策であります。岩ヶ袋地区の丹生川に雪捨て場がありますけども、5、6年前まで一般の人も雪を捨てることができたのですが、ここ3、4年はダメだということになっているんです。そのことについて、昨年の11月に前町長と●●清議員にお聞きしました。そうしたら町長は知らなかった、●●議員も知らなかったということで終わりにされました。それを翌年度に持ち越しされたわけです。昨年度はたまたま雪が少なかったから、雪捨て場に一般の人が行くことはなかったんですけど、私が3、4年前にダンプで雪を捨てに行ったとき、ある運転手さんから、大きな重機で入り口をふさがれました。どうしてダメなのかを聞いたのですが、何も言いませんでした。前町長は「町民目線」と言っていたのに、全然町民目線じゃないのではないかと11月に質問したんです。全然わからなかったということで、おかしいのではないと思うんです。岩ヶ袋地区で何人か直接の建設課長に電話した人もおります。区長を通して何回も電話しております。それでもダメだということなんで、それはおかしいということになったんです。それがまだ全然解決してないんです。おかしい話ですよ。雪捨て場について調べたところ、町の雪捨て場は、下河原、駒籠、鷹巣はどうなっているかわからないんですが、アヲハタさんの雪捨て場なのですか。その辺りも教えていただけないでしょうか。鷹巣地区の一般の人はどこに捨てているのか。岩ヶ袋の雪捨て場は一般の人はダメだということですが、5、6年前までは良かったんです。ダメになったということを町では全然告知しないわけです。何回か区長を通して聞いてもらってもダメだということでした。本当におかしい話です。この件は区長を通してでもいいので回答をお願いします。(同じ丹生川なのに)尾花沢市民(が雪を捨てても)良くて、大石田町民がだめだということに対して不満を持っていました。以前は軽トラックで持って行って捨てていました。</p>
庄司町長	<p>いつからダメになったんですか。</p>
岩ヶ袋 ●●さん	<p>3、4年前からです。その決裁は誰がしたのか。町長は知らなかった。議員も知らない。課長が決裁したのか。おかしい話です。私の他にも地区内にはおかしいと</p>

	<p>思っている人がかなりおります。町民を大事にしないで、何が町民目線だということの前町長に言ったのですが、知らぬ存ぜずなんです。今の国会と同じです。ダメならダメでどういった理由でダメなのかを広報に載せるなどして、町民に知らせしてほしいと思います。鷹巣や駒籠は一般の方が捨てて良いのか、アヲハタさんはどうなのか。区長さんにでも良いので、お知らせなり周知徹底をお願いします。</p> <p>あともう 1 件だけ。10 数年前からですが岩ヶ袋に空き家があるんです。10 数年前から県とか町、警察には何とかしてほしいとずっと要望しています。未だ解決しておりませんので。場所は分かりますよね。区長も経過は良く分かっていると思います。10 数年前から解決しておりません。私が区長をしていた時に、県や警察にも要望したのですが、解決しておりません。</p>
<p>岩ヶ袋 ●●さん</p>	<p>その件は、私からも何回も要望していて、行政代執行ができるはずなのになぜやらないのかと聞きました。その中で、あそこは町で抵当権を差し押さえしていますから、差し押さえして代執行すればいいのではないかと話をしたのですが、相手方と交渉するから待ってくれと、担当のまちづくり推進課からは 3 年間言われているんです。必ず情報を入れてくれとお願いしているのですが、話がないので行ってみると、「今交渉中です」と言われて 3 年が経つんです。相手方とどういった交渉をしているのかを話していただくと地元の方にも説明しやすいんです。行政代執行を頭に入れた中で進めていただければと思います。</p>
<p>岩ヶ袋 ●●さん</p>	<p>前はトタンがあってバンバン飛んでたんです。地区民が危ないということで、県や町に相談したんだけど、今は何にもなくなって潰れてます。景観もありますし、あの建物には難儀しております。町長さんよろしくお願いします。</p>
<p>大山まち づくり推 進課長</p>	<p>まず空き家ですが、私もあそこの建物は認識しておりますし、相手方の方も宮城の業者さんということも分かっています。(●●さん：私も認識しておりますし、直接話もしました。) ●●さんから、うちの担当と 3 年前からずっとお話しているということをお伺いしましたので、私の方も改めて状況を確認させていただいて事業を進めていくようにしたいと思います。</p>
<p>土屋総務 課長</p>	<p>その他ございませんか。</p>
<p>岩ヶ袋 ●●さん</p>	<p>町長さんには工業団地を整備する考えはあるのでしょうか。寒河江とか谷地は工業団地を整備して、「うちにはこういうものがあるから来てください」ということですから、どんどん来ているんです。大石田では全然ないですよね。働く場がないから若い人は定住するわけがないと思います。</p>
<p>庄司町長</p>	<p>工業団地までは今の時点では考えてはおりませんけども、広域連携といいますか、まずは住んで通える範囲の中でできるんじゃないかなど。</p>
<p>岩ヶ袋 ●●さん</p>	<p>仕事もないところに誰も来ないから。あればこそ人を呼べますけども。寒河江なんかはどんどんだよ。だから若者は定住しないんじゃないですか。</p>

庄司町長	ご意見ありがとうございます。
土屋総務課長	その他ございませんか。
岩ヶ袋 ●●さん	<p>座談会の開催は大変いいことだと思います。今までの町長さんは選挙間近になってくるとやるということが通例でしたが、就任直後にやるということは大変良いと思いますので、これからも対応していただければと思います。大事なのは聴くばかりではなくて、どう検討するかだと思うんですね。検討した中身をきちんと住民に周知することが大事だと思うんですね。「検討します」というのは、だいたい今の言葉で言うと、何もしないことということなんですね。言い方は悪いんですけども。「検討します」と言うと、何も返事が来ない。普通「検討します」というとボールを持っているのは検討者側のはずなんですけど、こちらから聞かないと全然帰ってこないというのが役場の実態なんですね。そこを考えた場合に、検討した内容を周知徹底していただければと思います。</p> <p>それから、DXは大変良いことだと思います。西川町はどんどんやっているわけですから、そういうことをやって●●さんが言ったように行政改革をしなければいけないと思うんですね。私が職員だったころから20数年間職員数が変わっていない。再任用を含めるとむしろ増えているんです。人口は減っているのに職員数はどんどん増えている。まったく逆行しているわけです。自己財源なんかあるわけがないんです。ですから、DXを推進して行政改革をやれば、子育てなどに回せる予算が出てくるのだと思います。</p> <p>それからですね、後でいいんですが、最上川の治水対策でどれくらいの家屋移転があって、大石田町に残るといふ人はどれくらいいるんでしょう。ものすごく心配な点です。過疎化に輪をかけようになつてないのかどうか。その対策どういふふうに行っているのかということも合わせて広く住民に知らせるべきじゃないかと思ひます。</p> <p>それから細かい部分なのですが、高齢者対策で、500円のタクシー券をあげていると言っているんですが、高齢者からすると500円だけではタクシーに乗ることができないから、小銭を用意しなければならないんだと言っています。尾花沢市ではDXでやれる（キャッシュレス決済ができる）ようになっているんです。そういったことをやれば、いくらかでも使い勝手は良くなるんだと思います。</p> <p>あと、こういうことを質問したいということをして渡していたので、それに対して回答が来るのかなと思っていたんですが、ないみたいです。あえて申し上げたいと思ひますけども、克雪に関するまちづくりについてですけども、町民に話を聞くと、大石田町は新幹線が停車するし高速道路もあるということでもみんな良い所だと言っているんです。何が悪いかと言ったら豪雪です。豪雪対策をしなかったら大石田町はどんどん過疎化していくと思うんです。役場の若い人たちと話をしたんですけども、雪駄で歩ける雪のまち大石田になったらすごいねって言っているんです。そうしたら、ここでみんな楽に暮らしていけるんですよ。新幹線の高速もあるわけですから。ですから、除雪機械に10万円の補助ではなくて、全額補助するからとか、屋根の融雪の部分で5割以上の補助金を出すから、雪に困らない町にしようという</p>

ような、大きな転換をしなかったら私はダメだと思います。雪に負けない、絶対負けない、克雪に特化したまちづくりに最大のお金をかけるということがあってもいいのではないかと思います。それで、前に社会福祉協議会の講演会で雪をエネルギーに変える方法を検討しているという話がありましたけど、これはすごいことだと思います。大石田町は雪が沢山降るので、エネルギーが豊富だということになれば、一気に金持ちの町になります。そのためには、関係機関を率先して大石田町に呼んでくればいいんです。発祥の地になるくらいの頑張りをすれば、大石田町は全く違うようになるのではないかと思います。自然の中にエネルギーが沢山あるわけですから、そういったことを研究する機関を他に先駆けて呼び込むような姿勢があったら大石田町は変わるのではないかと思います。

それから、農業をされている方もこの場におりますが、農家の人に聞いてみると、米は安い、燃料費は高い、肥料代は高いということでやっていけないという方がたくさんいるんです。高齢化もしていますし。そういったことの対応をどう考えていくかということも、小手先だけじゃなくて、もっとリアリティも含めて、きちっと町は方向性を出すべきだと思いますので、ぜひ検討していただきたいと思います。

それから、これ前から言っているんですけども、「検討します」と言って3年、5年も経って何も検討していないようなんですけども、あの町のホームページに投稿ボックスを作って、例えば、「家の前の道路が壊れている」とか「災害になっている」とか「クマが出た」とか「交通事故が発生している」とか「火災が起きていてこういう状況なってます」ということを送れるような投稿ボックスを作ってくださいと言っているんです。そうすると役場の担当者は楽でしょ。こういう状況だから、こういう手配をすればいいとかね。それをもっと発展させれば、警察とか消防にも全部リンクさせて、大石田方式を作ることもできる。そういう風にすることによって、色んな情報が町にすぐ伝わってくる。そういうものを作ってほしいと言ったんです。簡単にできそうだって言いながら3年間何にもやってない。回答も来ない。それを私は是非やるべきだと思います。

それから。地区の活性化補助金なのですが、いま一人から年間17,000円ぐらい集金しています。その中でですね、やはり戸数も減ってきてる。あと町に収めるお金が毎年増えてるんです。寄付金とか各団体の分で。類調べてみたら、7,000円ぐらいあるんですね。町からの補助金はどれくらいかというとなんて0円なんです。地域の活性化がなかったら町の活性化なんてあるわけがないんです。もう地域で何もできないんです。地域の結びつきを大事にするためにも地域活性化部分の補助金を出すべきだと思いますね。なるべく町が必要とする金を少なくして、地域が元気になるような施策をぜひ取ってほしいと思います。

それから、あの地震の話ですが、他の自治体では、明日は我が身だということで避難訓練をいっぱいやってるんですよ。うちは確かに防災の関係の方を雇ったというんですが、まだ避難訓練をどこでもやってなくて、町が主体でやっている避難訓練ってないんですよ。「自治会が最初に手を上げてください」と言って、地区の人はどんな避難訓練をしたらいいかわからない。町が率先して「こういう避難訓練をやってください」ということで、地区を全部巡回して指導していくような形にしないと、実際にはならないと思うんですね。

あとは備蓄もそうです。町がどれくらい備蓄しているのかということが全然連絡

がない。この前話した時は、消防分署に備蓄品があるからそれを持ってきますと言
うことだったんですけども、大地震の場合は道路や橋が壊れて運べない。そうい
ったことがあるので、避難所にちゃんと備蓄品を置くということも必要だと思います
ので、ぜひ検討をお願いします。

資料を渡しているのでわかりますよね。後で良いですから、整理して回答してく
ださい。ぜひ座談会で出た質問の回答などを町のホームページに掲載してください。

岩ヶ袋
●●さん

5ページの農林業の振興についてです。地域農業の在り方や概ね10年後の農地利
用ということになっております。これを地区の農業関係の実行組合の集まりで、町
の担当者にお聞きしたんですけど、10年後ということなんです。私、農協関係にい
たものですから、10年では遅いのではないかと言ったんです。これいいことが書い
てあるんだけど、10年ではダメですので、最低5年ぐらいでね、町長。早急にお願
いしたい。農地を借りる人も作る人もなくて。法人化するとか何か方策を考えて
いただきたい。10年後では遅いから、最低でも5年後でお願いしたい。令和6年度
中に策定すると書いてあるけどね。良い内容での策定をお願いします。10年後とは
言わないで。よろしくお願いします。

土屋総務
課長

先ほど●●さんから様々なご意見をいただいたところであります。この場で私が
答えられそうなところだけ、少しお話ししたいと思います。投稿ボックスの関係で
すね。これについては他の自治体でもやっているところもあるようです。ただ、様々
なアプリがあるものですから、どれが大石田町に合っているのかということを考え
ながら進めてまいりたいと思います。

あとは災害時の対応ということでお話がありまして、皆様ご存じの通り、山形盆
地断層帯。これが震度7クラスの大規模地震を引き起こす確率が東北地方の中でも
トップということで、それらを認識していただきたいということで、広報おおいし
だの5月号の広報おおいしだに災害特集ということで載せさせていただいたところ
であります。町民の方の防災意識の向上、それらを図るために。町長の話の中でも
ありました通り、地域防災専門員として自衛隊の方を今年度から設置をいたしまし
て、内容について、これまで培ってきた経験などを活かして、それらをもう少し深
掘りして対応してまいりたいと考えております。

それから、備蓄品の関係ですけれども、どこにどのくらいの物があるのか情報提
供してくださいというような、お話がありましたので、それについては様々な方法
で情報を提供するという事は大事だと思いますので、それについては是非対応を
して参りたいと思います。

ただ●●さんの話の中にもありました通り、道路が寸断された場合、物資を運ん
でこれなくなるのではないかと心配がありますので、その辺についてもまず第
一義的には、やはり家庭ですすね、防災用の備蓄品等の準備をお願いできればと
思います。これから備蓄品の整理追加をして、年度ごとに予算を計上しております。
なかなか備蓄品を保管しておくところがなくて、今後統合小学校ができた場合は、
北小なり南小なりをどう活用するかといったことが出てきます。その中で備蓄倉庫
とかそういう案も頭の中にはあります。その辺も今後検討しますって言うと、しな
いとなってしまいうわけですが、それらを十分に心の中で刻んで今後取り組んでまい

<p>岩ヶ袋 ●●さん</p>	<p>りたいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>能登半島は今回の山形盆地断層帯よりもまだまだ低い確率で地震が起きているんです。明日は我が身でいつ起きるかわからないんです。みんな避難所はどこにあるかもわからない。例えば公民館だっという人もいっぱいいるんですよ。公民館の耐震診断も全部やってない。公民館に逃げていいかもわからない。北小となった場合に、北小のカギを私たちは持っていません。開けられません。そういう現実的な避難訓練をやらないと、何が問題なのかもわからない。いち早く避難訓練をすることによって問題というのは分かってくるんじゃないかということです。今わかる範囲内でやることもできるんですよ。それで駄目なところは改善すればいいわけですから。またずーっと1年も2年も経って検討、検討ということだと、結局何もしないと同じなんです。今やれる範囲の中でやれる事をすれば良いと思うんです。ぜひそういう形でやってください。</p>
<p>土屋総務 課長</p>	<p>そうですね、今お話をいただいた通り、今は地域で防災訓練を実施していただいていますけども、その防災専門員を設置したということもあってですね、旧町村単位でそのような訓練ができないかということを考えてはおりますが、その辺の取り組み方について、どうしたらいいかということ、今ちょっと悩んでいるところでございます。ただ、そういう形で地域だけでなく、大きな括りの中で訓練ができればと考えております。</p>
<p>岩ヶ袋 ●●さん</p>	<p>町が主体的にやることによって、町の何が問題なのか分かってくる。あと、こういう訓練をすると効果的ですよということを地区に教えることができる。今は地区で何も情報がない中でやってるわけですから、ただ何も効果がない。だからそういうことで町が主体的にやるということは大切なんですね。それでやってみて問題があれば改善すればいいと思います。やる前から全部100点満点取るということは無理なんですから。50点でもいいからやるっていう気持ちをもってやってほしいと思います。</p>
<p>土屋総務 課長</p>	<p>ありがとうございます。その他ございませんでしょうか？</p>
<p>岩ヶ袋 ●●さん</p>	<p>役場の中ですぐやる課ってあるんですか？</p>
<p>庄司町長</p>	<p>ないです。</p>
<p>岩ヶ袋 ●●さん</p>	<p>尾花沢市や村山市では作っているらしいんですけども、そういう体制は全然ないんですか？どこの課で担当しているかわからないので、電話することができないですよ。猫が死んでいるとか、道路に穴が開いているとかいろいろあるんですよ。もしあればと思ったんですけども。なかったらしょうがないですね。</p>

庄司町長	<p>今年の4月からこれまでなかった総合窓口を、玄関を入れてすぐ右側の出納室に設けました。私も町長になってなぜないのかと思っていたので、設置しました。まだ電話での対応まではできないのですが、窓口に来ていただくと対応しますので。</p>
土屋総務課長	<p>その他ございましたらお受けいたします。</p>
岩ヶ袋 ●●さん	<p>丹生川のことなんですけども、橋の辺りは一級河川になってるわけなんで、橋から最上川の河口のところまでは木を伐採したり、堤防の草刈などをしているので非常にきれいになっているんですけども、橋と鉄橋の間辺りに大きい木が立っているわけで、それが増水した場合に鉄橋の橋桁と橋の橋桁に引っかかるのではないかと思って、雨が降るたびに気がかりになっているのですが、あの木を橋から河口までのようにきれいに切ってもらえないのでしょうか。</p>
大山まちづくり推進課長	<p>実情としまして、管理者の違いというのが一番大きいところだと思っております。丹生川の橋のところまでは、国土交通省新庄河川事務所大石田出張所さんがメインで見回りをしながら維持管理されています。橋から上流の管理区分は県に変わってきて、ご指摘はあった内容につきましては、建設課などを通じて県に状況確認と合わせて適切な管理をしていただけるような要望するようにしたいと思います。</p>
土屋総務課長	<p>その他ございましたらお受けしたいと思います。</p>
岩ヶ袋 ●●さん	<p>ちょっと質問なんですけども、役場の職員さんは総数何名でしょうか？</p>
土屋総務課長	<p>全て合わせて今正職員で確か。106だと記憶しています。</p>
海谷地区 ●●さん	<p>子供は少なくなっていくのですが、大石田保育園は将来的にどうするお考えなのか。余計な心配かもしれないけど。職員の措置も含めて行財政改革の中で、私は大きな問題だと思うんですね。</p>
庄司町長	<p>おっしゃる通りです。もちろん大石田保育園の職員は公務員になっております。「こうします」ということはもちろん議会であつたり、住民の方といろいろな話をしていかなければならないと考えておりますが、統合というのももちろん選択肢の一つであると考えております。</p>

海谷地区 ●●さん	いや、首にするわけいかないでしょうから。私がいた職場の場合はそういう場所ができる、研修をし直して事務職とかね、あるいはそれなりの場所に移すとか、そういう形で職員を守るっていうかね。そういうことをやるんだったら、それなりの時間が必要なんですよね。だから、その辺はもっと早く対応しておかないと、町長も苦しくなって大変だと思うんですよね。できるんですかね。できる道を探さなくちゃならないんですね。
土屋総務 課長	仮のお話になってしまいますが、その辺は本人とも相談しなければならないことですし、可能かどうかで言えばそれは可能です。替えることについては。ただ、やはり本人の意向とか、もし良いですとなってもそれなりの研修などが必要だと思いますので、今の回答としては、できないかと言われれば、できますという回答でございます。
海谷地区 ●●さん	考えてはいるのかな？
土屋総務 課長	今まで別のことを専門でやっていた方がですね、一般の事務をするとなると、それは難しい面があると思います。
海谷地区 ●●さん	今から子どもが増えるかもわからないんで、必ずしもそういうこと言えないですよ。
土屋総務 課長	ではその他ございましたら。
岩ヶ袋 ●●さん	今度小学校が合併しますよね。そうしましたら、やっぱり校舎が余ってきて、北小学校などの空き校舎の活用の具体的なプランはまだないにしても、どういう方向で町として関わっていくのでしょうか。例えば民間に全て任せて、それを生かしてくれるような、そういう事業者たちを探す。そういったことを考えていらっしゃるのか、方向性をお聞きしたいと思います。
土屋総務 課長	<p>廃校利用の関係でございますが、今現在ですね、役場内の全部の課が集まってですね、その廃校となる校舎を活用するに、町で使えるものがあるかどうかとか、そういったことを今検討しております。その次のステップとして、地域で使うものがないかどうかですね。あとは民間の方で使いたいといったところが出てくるかどうか。そういったところをステップステップで行きたいなということで、今の段階としましては、その庁舎内で廃校利用検討会議を設置しまして、検討を始めたばかりという状況でございます。その他ございませんでしょうか。</p> <p>今日の座談会に限らずですね、ご意見、ご提言につきましては、いつでもお受けする体制ではおりますので、区長さん通じてでも結構ですし、率直なご意見を今後ともいただければと思います。</p>

庄司町長	<p>皆さん本当に今日はどうもありがとうございました。僕が町長に就任する前の話になるんですけども、とある経営者の方にですね、「中君、子供に家を継がなくてもいいとか、大石田に帰ってこなくていいというような話はするな」と言われました。子供のころからそういった話をすると子供の脳裏に焼き付いて、俺帰ってこなくてもいいんだとか、帰ってきて駄目なんだとか、郷土に興味を持たなくなるらしいんですね。なので、「子供たちには絶対に言わない方がいいよ」と教えられました。だから僕の子供たちには、決してそういった話はしないようにしています。お子さんやお孫さんがおられる方ですね、大石田は雪が降るし人口が減って大変だからということで「帰ってこなくていいから」とか、「家のことは関係ないからお前の好きにしろ」と教えるのではなくて、決して「帰って来いよ」といった強制的なものではなくて、ポジティブな前向きな大石田の良いところをですね、ぜひ我々大人が大石田って良いところだよということを、お子さんだったりお孫さんに話をしてもらえればと思います。みんなで前向きに明るいまちづくりを行っていきたいと思います。今日は本当にいろいろなご要望やありがたいご意見をいただきました。「検討する検討する」で大変申し訳ないのですが、前向きな検討をさせていただいて、皆様が本当に住みやすい町にしていきたいと考えておりますので、これからもご指導、ご協力よろしくお願い申し上げます。今日は本当にありがとうございました。</p>
土屋総務課長	<p>ただ今町長からありましたとおり、本日は様々な貴重なご意見を頂戴いたしました。本当にありがとうございます。本日いただきましたご意見につきましては、今後のまちづくりに十分に活かしてまいりたいと思います。なお、本日の内容につきましては文字起こしして、ホームページに掲載したいと考えておりますので、よろしく申し上げます。では、以上でまちづくり座談会を閉じさせていただきます。</p>
6. 閉 会 （午後8時25分）	